

▼何を見ているのか。2階から庭がよく見える。



▼庭に水をまいた。地面の色合いが変わって不思議。



▼園長先生が庭の木の葉を切っている。早速遊びの道具になる。



小さなもののきらめき

幼稚園にはメインとなる遊具や保育室の道具以外に、無駄に見えるちょっとした空間がある。また、普段気にも止めない所が、天気やちょっとしたはずみで、変わって見えてくる。子どもは、隅や地面にあるものに惹かれるようだ。背が低いからなのか、視線が下に向かうことが多い。細かいところまでよく見ている。小さな所、小さな物、それは子どもと共鳴する世界の入口のようだ。至る所にあり、いつでも子どもを招いている。小さいものとは、世界の断片なのかもしれない。断片がいくらかもあることが幼児の空間の豊かさなのだろう。

写真・樋口早百合 解説・無藤 隆 協力・目白幼稚園

▼物置のそばは絶好の虫探しのポイントだ。



▼砂で作ったお団子をタイヤの陰に隠す。何に見立てているのか。

